

「令和3年度宇都宮市総合防災訓練」について

令和3年6月29日
行政経営部 危機管理課

大規模災害を想定した「総合防災訓練」を実施！

コロナ下においても、災害発生時に迅速な対応ができるよう、感染症対策を徹底した上で、防災関係機関や地域の皆様と連携した「総合防災訓練」を実施し、地域防災力の強化と市民の防災意識の高揚を図ります。

○ 日時・場所

- ・ 日時：令和3年7月31日（土） 午前9時00分から午前10時10分まで
※ 栃木県の新型コロナウイルス感染症に係る警戒度レベルが「ステージ3」以上になった場合は中止
- ・ 場所：とちぎ福祉プラザ わかくさ広場（宇都宮市若草1丁目10番6号）

○ 感染症対策

参加者の検温や参加者同士の間隔の確保など、基本的な感染症対策を徹底するとともに、参加団体・参加者数・訓練種目を縮小し、短時間で効果的な訓練を行う。

	令和3年度実施手法	<参考>令和元年度実施状況
参加団体	4団体 自衛隊、警察、市、 細谷・上戸祭地区自主防災会	78団体 左記のほか、災害時協定締結団体等
参加人数	100人程度 ※一般見学等無し	約2,500人
訓練種目	3種目	19種目
時間	70分	180分

○ 訓練概要と特徴

- ・ 本市中心部を震源とする震度7の直下地震により人的・物的被害が多数発生した状況を想定し、「宇都宮市災害情報共有システム」や「情報収集活動用ドローン」など、令和元年台風第19号を受けて 強化したシステム等を活用した「災害対策本部設置訓練」、「災害情報収集・伝達訓練」を実施する。
- ・ 避難所における受付時の検温・体調確認を行い、体調不良者を一般の避難者と別のスペースに避難させるなど、感染症対策を講じた「避難所開設・運営訓練」を実施する。
- ・ 訓練の様子を映像資料としてまとめ、市内全地区の自主防災会に対して配布することにより、伝達訓練を実施する。